●南海トラフ沿いの地震活動

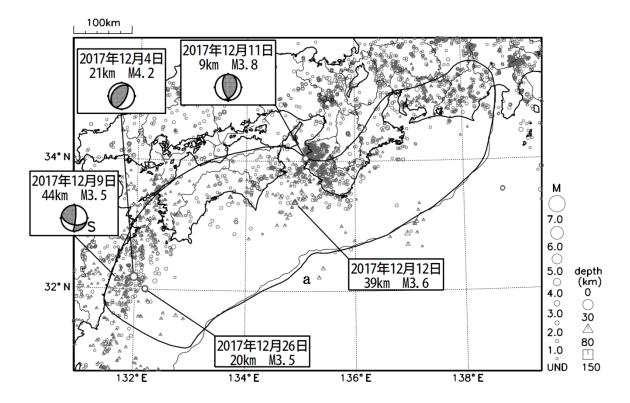


図 1 震央分布図 (2017 年 12 月 1 日~12 月 31 日、深さ 0~150km、M すべて、図中の領域 a は、南海トラフ巨大地震の想定震源域)

※図中の吹き出しは、領域 a 内の M3.5 以上、それ以外の陸域 M5.0 以上・海域 M6.0 以上とその他の主な地震

〇南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺: M3.5 以上の地震及びその他の主な地震

月/日	時∶分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
12/4	16:54	日向灘	21	4. 2	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界
12/9	04:21	日向灘	44	3. 5	1	フィリピン海プレート内部
12/11	05:39	紀伊水道	9	3.8	3	地殼内
12/12	11:13	四国沖	39	3. 6	1	フィリピン海プレート内部
12/26	20:34	日向灘	20	3. 5	_	

〇深部低周波地震(微動)活動期間

ONTER BUILDING TRANSPORT							
四国	紀伊半島	東海					
12月2日~5日	12月1日~3日	11月25日~12月5日					
12月7日		12月7日					
12月14日	12月16日						
12月30日							

- ※深部低周波地震(微動)活動期間は特定の場所での一連の活動期間を記載する。
- ※深部低周波地震(微動)活動と同期してひずみ変化が観測された活動(期間)に下線を付している。
- ※深部低周波地震(微動)活動の地域は、次頁で示している。

愛知県、長野県 (東海地域) 深部低周波地震は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。 F 愛媛県東部 G 愛媛県西部 $\widehat{\blacksquare}$ C 和歌山県 D QND E 徳島県、 0.500.500 気象庁作成 (2017年12月1日~2017年12月31 139°E ⋖ Ш で表示) 日以降の震源をO 12月 138° E (2017年12月1 \mathbf{m} 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 ※時空間分布図中、網掛けした期間は現在と比較して十分な検知能力がなかったことを示す。 137° 紀伊半島 136° $\widehat{\blacksquare}$ Δ 深部低周波地震活動 (2000年1月1日~2017年12月31 Ш 135°E ート投影 134°E 田田 4 上図領域内の時空間分布図 133°E 50km 33° N ⋖ m Ш വ I ш

図2 深部低周波地震活動(2000年1月1日~2017年12月31日)